



共 成



昭島市立共成小学校
校長 森本 弘子
令和 7 年 6 月 3 0 日

学校ホームページ <http://www.city.akishima.ed.jp/~kyosei/>

より良い関わりと望ましい行動に向けて

校長 森本 弘子



6月は、ふれあい月間でした。学級では、いじめ防止のための道徳授業を行ったり、心のアンケートを基に、子供たちの困り感に寄り添って指導したりしてきました。また、2年生以上で実施しているWEBQU(学級満足度調査)の結果を基に、講師を招き、効果的な支援の方法や学級経営についてのアドバイスをいただきました。研修で学んだことを生かし、学校・学級が子供たちの「安心基地」になるよう引き続き努めていきます。



教室では、日常的に様々な出来事があります。「だれかに〇〇された。」「相手が先にやってきた。」などの場面はよくあります。そんなときには、「交通整理」が必要になります。教師は、丁寧に双方の言い分を聞きながら事実の確認を行い、児童の行動の背景を理解したり、気持ちを代弁したり、イライラしている気持ちを落ち着かせたりします。それぞれの行動を振り返らせ、絡み合った児童同士の思いをほぐしていきます。そのうえで、悪かったなと思う気持ちを相手に伝え、受け入れることで多くの場合、双方の児童が納得し、解決につながります。教師は、根気強くこういった指導を繰り返しています。

また、学校では、上記のようなトラブルを未然に防ぐために、「止める⇒導く⇒GOサイン」を基本として、児童を望ましい行動へと導くようにしています。是非、御家庭でもお子さんの望ましくない行動が見られ、悩んでいる場合には、取り入れてみてはいかがでしょうか。

止 め る: その場にそぐわない行動をいったん止めます。「やめて」「ストップ」「待って」など短い言葉で、緊急性が高いときには、強めの口調、気付いてほしいときには、ゆっくりと低めの口調でとその時々で言い方を工夫します。手のひらを見せて、「やめてほしい」ということを伝えるハンドサインで示すことも効果的です。

導 く: 子供の行動には、未学習や未獲得な部分があります。身に付いていないのであれば、ゼロから丁寧に「〇〇します。」と教える必要があります。誤学習してしまっている場合は、その習慣化してしまっている行動に替わる別の行動を示してやる必要があります。気持ちを伝えるためには、別の方法があること、その方がうまく伝わることを伝えます。

GOサイン: 子供が考えたり、納得することができたりしたら、「そうだよね。」「オッケー。」といった言葉をかけ、背中をそっと押してあげるような関わりを行います。そして、望ましい行動ができた(しようとしたりしただけでも)ときには、笑顔でうなずいたり、オッケーサインを出したりすること(価値付けること)で徐々に望ましい行動が身に付いてきます。アイコンタクトだけで通じるようになってきます。

望ましい行動で児童同士が気持ちよく関わり、より良い関係を築けるよう、保護者・地域の皆様と一緒に導いていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

6月21日(土)学校公開では、御参観並びにアンケートへの御協力ありがとうございました。いただいた御意見を参考に、今後の学校公開に生かしていきます。図工・音楽・体育等の授業は、年間でバランスを考えて設定しております。また、教員への温かいメッセージも多数いただき、ありがとうございました。今後の励みになります。

